

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

持続可能なインパクトを生み出そう



視野を広げて新たな楽しみを発見しよう！

RI 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ 2026～2027

富津中央RC 会長 岡元 誠

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2854 第 5 回例会 2026. 8. 6 晴

点 鐘：岡元 誠 会長

進 行：新橋悠実瑛 SAA 志波生朗副 SAA

ソング：国歌斉唱 四つのテスト

会長挨拶

岡元 誠 会長



この度の熊本地震により被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の皆様の安全と、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。また本日の理事会で、クラブ内で支援金を募り、地区を通じて送金することになりましたので、皆様ご支援のほどよろしくお願いいたします。

さて、本日は永野愛子様の入会식을執り行わせていただきます。永野様、当クラブへの入会、心より歓迎いたします。入会式につきましては、のちほどよろしくお願いいたします。

続きまして、先週土曜日8月1日にマザー牧場にて開催いたしました「家族親睦納涼例会」についてご報告いたします。

当日は近隣のクラブからも多数ご参加いただき、

総勢51名という大変賑やかな会となりました。美味しいお肉の食べ放題やお酒の飲み放題、そして何より目の前で打ち上がる大迫力の花火を皆様と共に楽しみ、大いに親睦を深めることができました。企画とご準備にご尽力いただきました、親睦担当の志波会員、岡田会員、そして藤江さん、本当にお疲れ様でした。

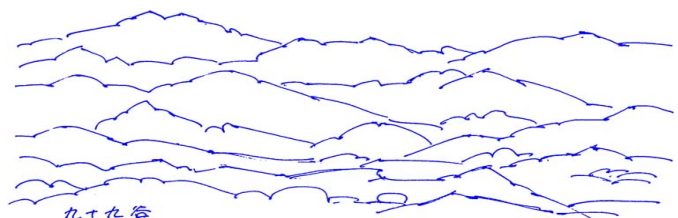
次に、昨日、栗原幹事、岡田直前会長と共に、富津シティロータリークラブの例会にお邪魔してきました。昨日は特に出席率が悪かったようですが、温かく迎えていただき、和気あいあいとした雰囲気で開催を進められておりました。ロータリーでは8月は「会員増強月間」に定められており、今年度は地区より8月の例会内で会員増強について取り上げる様、要請があり、例会後半では地区から配布されたPVの視聴をされていました。

当クラブにおきましても、本日は会員増強委員長の城臺会員より、会員増強についての卓話をお願いする予定でしたが、2日前にぎっくり腰になられてしまい、本日は欠席となってしまいましたので、また改めてお願いしたいと思っております。

なお、地区から配布されましたPVにつきましては、YouTubeにて視聴可能となっておりますので、のちほどクラブのグループLINEにてURLをお知らせいたしますので、お時間のある時にご覧いただけたらと思います。

さて、本日8月6日は、81年前、広島に原子爆弾が投下された日です。81年という年月が経過した

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



現在においても、悲惨な戦争が起きており、日本もいつ巻き込まれるかという瀬戸際にあると言わざるを得ない状況です。以前、例会におきましても、広島県出身の榎本会員や長崎県出身の山下会員、太平洋戦争について深く研究し、執筆活動されている三枝会員から卓話をしていただき、過去の戦争の実態や平和の尊さについて勉強させていただきました。

私たちロータリーは、世界平和の推進に深く取り組んでいる組織です。今日のような日を機に、改めて平和への思いを新たにし、私たちに来ることを考えていきたいと思っております。

最後になりますが、本日はこの後、永野様の入会式をはじめ、誕生祝、活動計画発表と、充実した例会になると思います。本日も皆様にとって有意義な時間となりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

栗原典子 幹事



1. 財団室NEWS8月号 回覧
2. 2026-27年度ガバナー月信8月号 回覧
3. 米山梅吉記念館より館報秋号 回覧
4. 国連支援募金事務所より支援金礼状 回覧
5. 第3回会長・幹事会資料 回覧
6. 2025-26年度最終実績報告 回覧
7. ロータリーの友8月号配布
8. ガバナー事務所、エレクト事務所より夏季休業のお知らせ 期間:8月13日(木)~14日(金)
9. 熊本地震支援金協力依頼 令和8年9月まで
10. 木更津東RCより納涼会のご案内
日時:8月26日(金)18:00~20:30

会場:ホテルアカデミアパーク 中庭(BBQ)

参加費:後日連絡、締切り:8月16日

11. 世界ポリオディ地区啓蒙イベント協力願い

日時:10月26日(日)10時~16時

会場:ブルーベリーヒル勝浦 登録料無料

「END PORIO NOW」Tシャツ着用希望

協賛金:一口2万円 協賛企業の締切:9月9日

12. 2026-27年度地区ポリオナイトのご案内

日時:10月25日 18時半~20時

会場:ブルーベリーヒル勝浦多目的ホール

登録料:1200円/一人(寄付含む) 立食

申込締切:9月30日

入会式



入会挨拶

永野愛子 新会員

ロータリーの事、これから勉強させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

誕生祝

平川恵敏 新橋悠実瑛 会員



誕生一言

平川恵敏 会員



誕生祝をいただき有難うございます。これからは自分の年のことを言わないようにしております。

新橋悠実瑛 会員



お誕生日祝いをいただき、ありがとうございます。今月で64歳になります。先月推し活の遠征で大阪に行きましたが、暑さでふらふらになり、体力の無さを痛感しました。体力作りをしっかりと健康第一で元気に楽しい一年を過ごしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

活動計画発表

奉仕プロジェクト委員長 津田 望



いつもHP基金のご協力をありがとうございます。

大切にに使わせていただいております。

今年の奉仕プロジェクト委員会の各部は、Enter to Learn, and Go forth to Serve「入って学び、出でて奉仕せよ」という言うロータリーの本質的な教えに従って各委員会の活動内容を進めていきます。

今年度の「社会奉仕担当部」は、昨年度中盤から子ども食堂から富津市内の「ヤングケアラー支援」にシフトを切りました。しかし「ヤングケアラー」という新しい概念はなかなか浸透しておりませんので、今回少し再確認させていただきたいと思います。

これは1990年代のイギリスで、経済格差や一部それを原因とするシングルペアレントなどの理由により「子どもの貧困」が社会現象となりました。それにより、「家族にケアを必要とする人がいるために、本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを行っている、18歳未満の子どもや若者」の数が急増し、その子どもたちが「ヤングケアラー」と名付けられました。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。

その子どもたちは、このような日常的ルーティンを行なうために、学業や通常の社会的活動などがおろそかになり、徐々にそのことが「社会的障がい」となり、将来的にマイナスループとなり得ることが問題となりました。英国ではそのような子どもたちへの支援が早くから行われています。

日本ではまだこの問題に取り組む行政の体制が整っておらず、2023年の時点でも実態把握の窓口を設置した市区町村は全体の5分の1にも満たない現況です。この分野は今後大きな社会現象となることは間違いなく、現時点での支援開始が急務とされています。

富津市ではまだ取り組みは本格的にスタートしていませんが、これまでの「富津市子ども計画」の保

護者アンケートによると、ヤングケアラーがいる、又はいるようである世帯は全世帯の約1.7%(2600世帯中40世帯程)であることが想定されています。今後さらに積極的な調査および支援の具体的方向性が示される必要があると思います。

さてこれら行政のスタートに先駆けて、当委員会ではもう既に支援のプロジェクトが昨年度より発足しており、今年度は地区の補助金を頂き、来年3月6日(土)に地域のヤングケアラーの子どもたちを連れての「鋸山奉仕プロジェクト」を計画し、日本遺産を目指している鋸山の清掃・整備を行います。その行事にも是非皆様のご協力とご支援をお願い致します。

管理運営委員長 朝月真次郎



管理運営委員会としての活動計画は、お手許のクラブ活動計画書に記載の通りでございます。私は委員長としての私に対して2つの課題を設定いたしました。「出席率の向上」と「新会員の満足度の向上」です。会員増強の結果、目標である女性会員及び若い世代の会員は急増しましたが、当クラブとして共有された「入会後の対応」についての指針は存在せず、せっかくご入会いただいた新会員は大丈夫だろうか?と危機感を抱いております。

この2つの課題を解決すべく、ここ2年に入会した新会員にアンケートをとり、その結果を活動計画に反映させたいと考えております。

そこで第3回例会前に、管理運営副委員長、プログラム担当部長、出席担当部長、親睦担当部長とミーティングを行い、どのようなアンケートを作るかを議論しました。アンケート内容及びアンケート結果等は、今後の例会内でご報告申し上げますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

ロ財団・米山委員長 岡田良弘



SAA 新橋悠実瑛



会員卓話 『看護のたましい』

(木更津 RC 例会における卓話)

三枝一雄 会員



皆さんこんにちは、当クラブを親クラブとして誕生した富津中央のクラブの三枝でございます。今年は60周年を迎えて式典を行う予定で準備を致します。その節はよろしくお願いいたします。

本日、「看護のたましい」という大変大げさなテーマで卓話にお伺いしたのは、訳がありまして今年3月5日、86年も続いた木更津看護学院が諸般の事情で、閉院することになり、その式典で藤平会長、重城前会長にお目にかかったことが、ご縁で今日

を迎えました。私は看護婦が、看護学校が好きで好きでたまらなかったのも、この閉校は断腸の思いがありました。私にとって、看護とは単なる職業でなく、道であり、魂であるとさえ思っております。今日はその一端を私の体験を通して、お話したいと思います。

まず、自己紹介をいたします。私は昭和7年に富津市佐貫の小さな開業医の息子として生まれました。当時、私の祖母は産婆、今の助産師をしており、何人かの若い娘を内弟子にかかえておりました。その頃、正式な学校はなくて、先生の自宅に住み込んで働きながら、技術を覚えて、試験に合格すれば、資格がもらえるという時代でした。医師でいえば、江戸時代の赤ひげのような暮らしだと思われまふ。私はその産婆見習のお姉ちゃんたちに育てられた為に、丁度アヒルが生まれて、すぐ動くものを見て、親だと思って、ついて歩くように、物心がついてからも、この白衣姿に淡い憧れを持つようになったのであります。その後、木更津中学、木更津高等学校を出て、なんとか医者になりました。

昭和43年、およそ10年お世話になった千葉大学第一外科を退職して、富津市に開業しました。36歳の時です。何やかやと大学の束縛を離れて、これからパンパンと手術をやるぞと意気盛んでいました。腕の良い医者への助っ人は大学から頼めます。術後管理は私がやれば大丈夫。問題は看護婦です。当時、経験のある看護婦は田舎には来てくれません。そこで木更津准看護学校に生徒を通わせて、育てることにしました。毎日、朝礼の後、回診・夜回診と3回、徹底的に鍛えました。鳥の鳴かない日はあっても、三枝病院の看護婦の泣かない日はないとされた特訓です。当時の生徒はそれによく耐えて臨牀的に腕を上げました。手術も次々成功し、評判も良いと思われました。しかし、思わぬ声が上がって、私は首をかしげざるを得なくなりました。入院患者さんからこういう声が聞こえたのです。「この病院の看護婦は親切だし、よくできるから安心だよ。だけど院長はきびしいからな。おらが娘なんか、可哀想でやれねえよ。」更に当時一番信頼している婦長から駄目を出されました。「先生、うちの主人はとてもこの病院には入院させられません。主人はわ

がままで、とても先生の言うことは利けませんから」患者の娘が預けられない、職員の家族が安心して入院もできない病院のどこがよいのでしょうか。

ふとある入院患者がきっかけで、「ニューモラル」という小冊子を知り、私の若気の至り、高慢さと独善性に気づきました。そこで単なる腕の良いナースを育てるのではなく、本人が幸せになる為の教育をすることが大切であると方針転換を致しました。高度な外科手術のほかに倫理、道徳を導入したのです。さあ、そうなるとやる方もやられる方も大変です。ある時に医師会でさんざん酒を飲んでだいぶ酔っぱらって帰ってきました。当時私は病院内に住んでいましたから当然、当直のナースと出会います。「先生、そんなにお酒を飲んではいけません」「何を言うか。俺ばかりではないぞ。ご近所のA先生、T先生、K先生ももっとご機嫌で帰って来たんだ」「よその先生はいいんです。私たちに向かって理想の看護婦になれと言う先生に理想の院長を求めてどこが悪いんですか？」

「……………」そのうちなぜ辞めたいかと職員を問い詰めるとう返されました。「先生が尊敬できなくなったから辞めます。」ととどめを刺されました。なんということでしょう。教えることは自ら学ぶこと、自分の不完全さをさらけ出して反省する。その後ろ姿を見せることなのです。それに気づいたころには、もう年を取ってしまいました。しかし、中には立派に育った看護者も出てきました。日暮れて、道遠しの感がありますが、その間に木更津看護学院を卒業した生徒のわが病院に起こったひとつの出来事を紹介したいと思います。

仮にM子と呼んでおきましょう。彼女は地方の高校を卒業し、三枝病院の職員寮に入り、病院で働きながら木更津看護学校に通学していました。卒業してそのまま就職し、入院中のある青年と親しくなりました。ここまではよくあることです。しかし二人を結んだのは『ニューモラル』という小冊子でした。彼女が手渡したその冊子を読んで、ひそかに悩みを持っていた彼の心が開かれたのです。二人は結ばれて幸せに暮らしました。媒酌人は不肖私ども夫婦がやらせて頂きました。しかし間もなく彼の母親が肺

がんになりました。手術を受けましたが再発し、三枝病院に入院しました。病状は急速に悪化し、彼女が当直の晩に危篤状態に陥りました。M子は看護者として、また息子の嫁として二重の負担を背負って走り回りました。翌朝、帰宅した後、夫から突然電話が入りました。「先生、妻が今朝入院しました。」「エ！ 何処へ入院したんだ？」「婦人科です。流産したそうです」「……………」私は一瞬言葉を失いました。彼ら夫婦は子供を待ち望んでいたのです。妊娠がわかっていれば夜勤なんかやらせなかったのに。「私たちも気づかなかったのです。残念でした。」電話は切れました。すぐ見舞いに行ってやりたいくとも、こちらの患者も手が離せません。肺がんの母親は夕刻に血圧が低下し、脈も触れにくくなりました。その時です。流産をしたはずのM子がパジャマ姿で現れました。よろよろと患者の枕元に近づき、酸素マスクを取って、母に呼びかけたのです。「オカアサン、オカアサン、助かるよ。頑張ってね」その時、ハートモニターに映る心電図の波形が、ほとんど停止するかに見られたものが、彼女の必死の呼びかけと共にピタリと正常に戻ったのです。勿論、科学的には何の関係もないと言うべきでしょう。しかし、事実は驚くべき“魂の触れ合いのような共時性”（シンクロニシティ、ユングは偶然と言わずそこに意見を見出した。）を示したのです。一時、小康を得たものの患者は翌日、息を引き取りました。一体、M子はなぜこんな行動をとったのでしょうか。“待ち望んだ子供を自分の不注意で亡くしてしまいました。子供にも済まないと思って、とても悲しかった。辛くて落ち込んでしまいそうだった。だけど、ふと、これでもしかすると、お母さんが助かるかもしれないと思った。子供の命と引き換えに神様はお母さんを助けてくれるかもしれない。それには自分が行かなくては、そう思ったら勇気が湧いてきて自分の体のことも忘れて来てしまった。”後で彼女はこう語ったそうです。その後、二人の子供に恵まれ、今も幸せに暮らしています。

お聞きいただいた皆様はどう思われるでしょうか。私は彼女に、看護の何たるかを身をもって教えられました。介護とは単なる職業を超えた「道」であり、

亡くなった大日向校長が日ごろ述べられた「誠」の実践であり、ロータリークラブの“超我の奉仕(service above ourselves)”の実践に通ずるものではないかと思います。私は、真心の奉仕は形だけではなく、純粹に神に奉仕する修道女のような精神から発したもので、看護の心を育てるということは魂を育てることであると思います。その拠り所であった木更津看護学校を失うことは誠に残念であります。

ロータリアンの皆さん、地域にこの心を育てる、魂を育てる看護教育の灯を消してはなりません。この点のご理解とご協力を願って、私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

会員報告

山下 厚 会員



ヨーロッパの国々でこの夏は40℃越えが頻発しています。当地に最も近い気象庁木更津気象観測所の観測値でも7月末から8月上旬にかけ、連続で35.0℃以上を記録しています。5日続けての猛暑日の中では、草刈をしても直ぐに全身汗みずくになり、猛暑を実感します。

そこで、ついひとごとと思いがちな気候変動・温暖化が、実際に私たちが生活している身の回りで起きているのか否かを確認する意味で、木更津気象観測所の50年余りのデータを使ってグラフを作り「見える化」を試みました。

その結果は。冬日(最低気温が氷点下)の日数が昭和50年代に比べて近年は概ね5分の1に減っていること、真夏日(最高気温が30℃以上)は2倍程に増えていること、昭和の末期のころは猛暑日のない夏が普通だったのに、一昨年は19日、昨年は12日もあったこと、昭和の末期にはせいぜい5～6

日であった熱帯夜が近年は30日以上になっていることが分かりました。温暖化を示すグラフは右肩上がりが顕著でした。

渡辺 務 会員



先日の例会では拓大紅陵高校野球部はベスト4で次戦は習志野高校だと申し上げました。その後、紅の球児たちは快進撃を重ね、ついに24年ぶりの甲子園出場を果たしました。当クラブが昨年12月に仲立ちをして、台湾嘉義市の国際管楽節に吹奏学部に参加していただいて以来、紅陵吹奏楽部の活動を見守ってまいりましたが、ついに彼女たちの応援演奏が甲子園のアルプススタンドに響き渡ります。私はその晴れ舞台に立ち会うべく次週8月12日の初戦の応援に行つてまいります。結果はご報告申し上げます。ご期待ください！！

ニコニコBOX

親睦担当部員 岡田良弘



岡元 誠、栗原典子、相川恵津子、志波生朗、岡田良弘、白石幸久、渡辺哲夫 高橋裕之

新会員永野様をお迎えして

平川恵敏 誕生祝いを頂いて 2,000 円

新橋悠実瑛 // 2,000 円

榎本守男 2,000 円

永野さん入会おめでとう、先日のマザー牧場の例会涼しく楽しみました。

津田 望 2,000 円

永野さんようこそ。お誕生日の方おめでとうございます。

白石淳子 被爆81年、平和に願いを込めて

渡辺 務 甲子園に行つてきまーす！

須藤 隆 久しぶりに会報の編集を担当します。

三枝一雄 いきやないしづ 戦止め地震も鎮まれ原爆忌

金額不記載は、1,000 円 合計 20,000 円

出席報告

渡辺哲夫 出席担当部員



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	47/48	26	21	1	55.32%
前回	44/48	36	8	6	68.10%
前々回	44/48	26	16	5	55.00%

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シティ(特 18:00)
木	上総、木更津

各クラブ例会場

君津	青春時代八重原スタジオ	0439-52-8882
袖ヶ浦	レストラン菜心味袖ヶ浦店	0438-60-1753
木更津東	木更津商工会館	0438-25-0716
富津シティ	新日鐵住金富津クラブ	0439-80-2525
上総	割烹旅館 山徳	0439-27-2003
木更津	東京ベイプラザホテル	0438-25-8888

理事会報告

岡元 誠 会長

1. 9月プログラム

9/3(木) 誕生祝 津田、永野、藤江会員
奨学生訪問 ナディレさん卓話
理事会(例会前11:15~)

9/10(木) ガバナー補佐クラブ訪問(2回目)
地区RAC委員による卓話

9/24(木) ガバナー公式訪問
ガバナー補佐クラブ訪問(3回目)
クラブ協議会
テーマ「皆さんが考える持続可能な奉仕活動」

2. 第5グループ共同の社会奉仕活動について

7/24の会長幹事会において、富津中央RCが主催する3/6に実施する鋸山での清掃、登山整備について、第5グループとして共同参画する方向で決定。

8/29地区奉仕プロジェクトセミナーでも計画を発表する。

3. 令和8年熊本地震 支援金について

例会で募金箱を回し、9/18の期限までにクラブの費用と合わせまとめて、地区へ送金する。

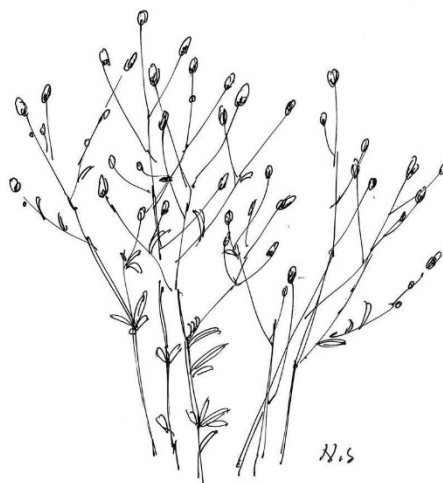
編集後記

2026-28年度が7月にスタートしたと思ったら、あっという間に1か月が過ぎました。

会員数は48名に増大し、10年前には1名だった女性会員は11名に増え、更に若い会員も増えた中で、今年度の活動計画発表の中身にも、新しい息吹が感じられるようになりました。

今回は、私が担当した会報で、初めて8ページものボリュームになりました。通常は4ページの範囲以内にまとめるべく、工夫を重ねてまいりましたが、皆様から提出された原稿は、できるだけ忠実に掲載することを旨としてまとめた結果、今回は6ページを逾越して、8ページのボリュームになってしまいました。これも会員増を象徴している証なのかもしれません。

(すどう)



吾亦紅 (8-10月)